

- 問1 19世紀の自由主義的な国家観から、20世紀に入り「社会権」を保障する国家へと役割が変化した主な背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 資本主義経済の発展に伴って貧富の差が拡大し、国家が国民の生活に積極的に介入して人間らしい生活を保障する必要が生じたため。 | 2. 個人の利益よりも公共の利益が優先されるべきであり、私有財産を制限することで社会の秩序を維持することが求められたため。 | 3. 人権は国家によって与えられるのではなく、人間が生まれながらに持っている侵すことのできない権利であるという思想が確立されたため。 | 4. 国家の権力を制限し、個人の経済活動や思想の自由を最大限に尊重することが、社会全体の幸福につながると考えられたため。 |
|---|---|--|--|
-
- 問2 日本国憲法では、刑事裁判において被告人が貧困などの理由で自ら弁護人を依頼できない場合、ある制度によって弁護人をつけることが保障されています。この対応として正しい記述はどれですか。
(2025年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|---------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 弁護人なしで裁判を進める | 2. 家族が法廷で弁護を行う義務を負う | 3. 国がその費用で弁護人をつける | 4. 検察官が弁護人の役割を代行する |
|-----------------|---------------------|-------------------|--------------------|
-
- 問3 日本国憲法第25条において、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」として保障されている、人間らしい生活を送るための権利を何といいますか。
(2014年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 平等権 | 2. 自由権 | 3. 参政権 | 4. 生存権 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問4 国や地方公共団体が持っている情報を、国民が教えてほしいと求めることができる権利のことを何といいますか。
(2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------|--------|---------|
| 1. 裁判を受ける権利 | 2. 生存権 | 3. 請願権 | 4. 知る権利 |
|-------------|--------|--------|---------|
-
- 問5 日本国憲法が保障する刑事手続上の権利のうち、犯罪の疑いをかけられた被疑者や被告人が、自分の権利を守るために専門家による援助を受けることができる権利を何といいますか。
(2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------|-------------|----------|
| 1. 黙秘権 | 2. 弁護人依頼権 | 3. 裁判を受ける権利 | 4. 団体交渉権 |
|--------|-----------|-------------|----------|
-
- 問6 日本国憲法の第3章「国民の権利及び義務」において保障されている人権のうち、社会権に分類される権利の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。
(2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|------------|-----------------|----------------|
| 1. 生存権・教育を受ける権利 | 2. 生存権・財産権 | 3. 教育を受ける権利・黙秘権 | 4. 勤労の権利・信教の自由 |
|-----------------|------------|-----------------|----------------|
-
- 問7 医療の現場において、医師が病状や治療方法について適切な説明を行い、患者がその内容を理解した上で、どの治療を受けるか自ら選択することを「インフォームド・コンセント」という。この手続きの基盤となっている権利として最も適切なものはどれか。
(2020年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|---------|--------------|
| 1. 環境権 | 2. 自己決定権 | 3. 知る権利 | 4. プライバシーの権利 |
|--------|----------|---------|--------------|
-
- 問8 新しい人権の一つである「環境権」と、その具体的な内容や関連する権利の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。
(2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| 1. 環境権 ― 快適な生活環境を求め
る権利としての日照権 | 2. 環境権 ― 自分の情報をコントロールする権利としての肖像権 | 3. 環境権 ― 政治への参加を求める権利としての参政権 | 4. 環境権 ― 報道機関に反論を求める権利としてのアクセス権 |
|-----------------------------------|----------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
-
- 問9 日本国憲法において、国民に保障される基本的人権は最大限に尊重されるべきものですが、他者の人権と衝突する場合に一定の制限を受けることがあります。このように、社会全体の利益を考慮して個人の人権を調整したり制限したりする原理を何といいますか。
(2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|--------|
| 1. 幸福追求権 | 2. 個人の尊厳 | 3. 公共の福祉 | 4. 生存権 |
|----------|----------|----------|--------|
-
- 問10 日本国憲法では基本的人権が保障されていますが、他人の人権と衝突する場合には、社会全体の利益のために一定の制限を受けることがあります。経済活動の自由や財産権などを制限する根拠となる、この「社会全体の利益」を指す言葉として適切なものはどれですか。
(2015年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|-----------|
| 1. 公共の福祉 | 2. 法の支配 | 3. 信教の自由 | 4. 罪刑法定主義 |
|----------|---------|----------|-----------|
-
- 問11 個人のもつ人権は最大限に尊重されるべきものですが、他人の人権との衝突を調整し、社会全体の幸福を守るための原則として「公共の福祉」があります。この公共の福祉を理由として、正当な補償を伴いながらも制限を受けることがある権利を、次のうちから選びなさい。
(2022年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-------------|--------|
| 1. 表現の自由 | 2. 労働基本権 | 3. 集会・結社の自由 | 4. 財産権 |
|----------|----------|-------------|--------|
-
- 問12 日本において、政府が家計に対して年金や医療などの社会保障サービスを提供する仕組みは、憲法の規定に基づいています。日本国憲法第25条で「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と定められているこの権利を何といいますか。
(2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|------------|
| 1. 生存権 | 2. 財産権 | 3. 参政権 | 4. 国家賠償請求権 |
|--------|--------|--------|------------|
-
- 問13 日本国憲法第25条において、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されている権利を何といいますか。
(2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 平等権 | 2. 参政権 | 3. 生存権 | 4. 自由権 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問14 日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されています。社会権の代表的な権利であり、国が生活保護や社会保障制度を通じて国民の生活を支える根拠となっているこの権利は何ですか。
(2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|-------------|
| 1. 労働基本権 | 2. 生存権 | 3. 勤労の権利 | 4. 教育を受ける権利 |
|----------|--------|----------|-------------|
-
- 問15 現代の情報化社会において、プライバシーの権利の捉え方はどのように変化していますか。その内容を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。
(2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 私生活を公開されないという消極的な権利から、自分の情報を自らコントロールする積極的な権利へと変化した。 | 2. 行政が保有する情報を国民が自由に閲覧できる権利へと変化し、情報の透明性を高める役割を果たしている。 | 3. 公務員の私生活はすべて国民に公開されなければならないという考え方が定着し、権利の範囲が縮小している。 | 4. 自然環境を享受する権利と統合され、快適な生活空間を求める権利としての側面が強まっている。 |
|--|--|---|---|